

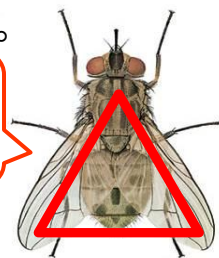
# サシバエにご用心！！

だんだんと涼しくなり、サシバエが活発になる季節になってきました。サシバエの吸血ストレスによる採食量の低下およびそれに伴う泌乳量・増体量の低下などを防ぐため、サシバエ対策を行いましょう。

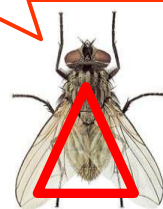
## サシバエの生態

- 発生が多いのは比較的涼しい時期（春先および特に晩夏から秋）
- 体型は正三角形に近い、灰色、腹部が丸い
- 吸血性（♂♀とも）があり、動物、特に牛の血液を好む（吸血は主に朝夕2回、涼しい時期にはお昼頃に出没）
- 吸血は羽化の翌日から開始
- 吸血時以外は牛舎周辺の草むらや木陰で休息している
- 産卵は羽化後1週間から開始し、生涯産卵数は約800個

サシバエ  
(針型の口吻を持ち、  
正三角形に近い形)



イエバエ  
(二等辺三角形  
に近い形)



## イエバエとの違い

種 類	サシバエ	イエバエ
種特異性	大型動物（主に牛舎でみられる）	全畜種でみられる
成虫の体長	♂ 3.0 ~ 6.5 mm ♀ 5.0 ~ 8.0 mm	6.0 ~ 8.0 mm
口器	吸血型（雌雄とも）	舐食型
食性	動物の血液（特に牛を好む）	腐食性（腐敗物、死骸、家畜糞など）
発生源	家畜の糞便（少し古め）、堆肥	家畜の糞便、堆肥、ゴミ
発生時期	涼しい時期（春先、晩夏から秋）	1年中（初夏、秋が特に多い）
生涯産卵数	300 ~ 800 個	500 個
1回産卵数	100 ~ 200 個	50 ~ 150 個
成虫の寿命	約 15 日	約 3 週間

中央家畜保健衛生所（西濃総合庁舎内）

〒503-0838 大垣市江崎町422-3

TEL: 0584-73-1111 FAX: 0584-73-4422

E-mail: c24502@pref.gifu.lg.jp



# ☆ サシバエ対策をしましょう ☆

サシバエの害は吸血ストレスだけでなく、繰り返しの吸血による病原体（牛白血病等）の伝播も大きな問題です。



## ① 発生させない

### → こまめな除糞と乾燥で発生源を除去

- ・サシバエは生涯に800個もの卵を産みます。発生させないことが重要です！！
- ・糞尿や湿ったところを好み卵を産みます。
- ・畜舎の隅、柱の根元、バークリナー、汚水だまり、残餌、給水器の下部など、汚れの残りやすいところの掃除を心掛けましょう。

## ② 畜舎に入れない、出さない

### → 防虫ネットの設置、ハエ取り紙の設置（1.5mまで）

### → 畜舎周囲の草刈り

### → 送風

- ・防虫ネットには埃が付きやすく、換気が悪くなるので、定期的に掃除しましょう。
- ・ネットの目合いは2mm以下が適当です(4mm以上だとサシバエはすり抜けます)。
- ・吸血直後のサシバエは動きが緩慢で、そのほとんどが1.5m以下でしか飛べません。
- ・周囲の草むらなどのサシバエの休息場所を減らしましょう。
- ・牛体や畜舎内に常時一定の送風量があれば、サシバエが牛に近寄ることが難しくなり、結果的に発生数を減らすことも確認されています。

## ③ 成虫になる前に駆除する

### → 卵・幼虫・さなぎを殺虫剤で駆除する

- ・農場内にいるハエの全個体数のうち、約80%は卵・幼虫・さなぎの状態です。
- ・サシバエに対する薬剤散布は、幼虫対策が基本です。
- ・幼虫は殺虫剤への抵抗力が低く、駆除しやすいです。

薬剤は、数cm下まで浸透するようにしっかり散布しましょう！！

